

【証券コード:6728】

テクニカルセミナー および 工場見学会

2006年6月1日

株式会社アルバック

◆ 将来見通しに関する記述についての注意事項

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。当社グループのお客様であるフラットパネルディスプレイ・半導体・電子部品業界は技術革新のスピードが大変速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、フラットパネル・半導体・電子部品の市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

◆ 本資料における表示方法について

数値： 単位未満四捨五入

比率： 百万円単位で計算後、単位未満四捨五入

第3四半期決算報告(連結) (2006年6月期)

経営環境

- 液晶ディスプレイなどフラットパネルディスプレイ (FPD) の設備投資が継続的に拡大
 - ▶ 薄型テレビの需要が急増 (30型から40～50型へ)
 - ◆ 液晶は第5 (5.5) 世代と第7世代以降の設備投資が急増
 - ◆ プラズマテレビも液晶を追撃
 - ◆ 第10世代を視野に入れた装置開発を開始
 - ▶ 次世代ディスプレイ (有機EL、FED、SED等) の設備投資が開始
- フラッシュメモリの需要増で日本、韓国、米国にて設備投資が拡大
- ハイブリッドカーなどポストFPD関連の設備投資が開始
 - ▶ 磁石用真空熱処理炉、真空溶解炉、電子部品製造装置など

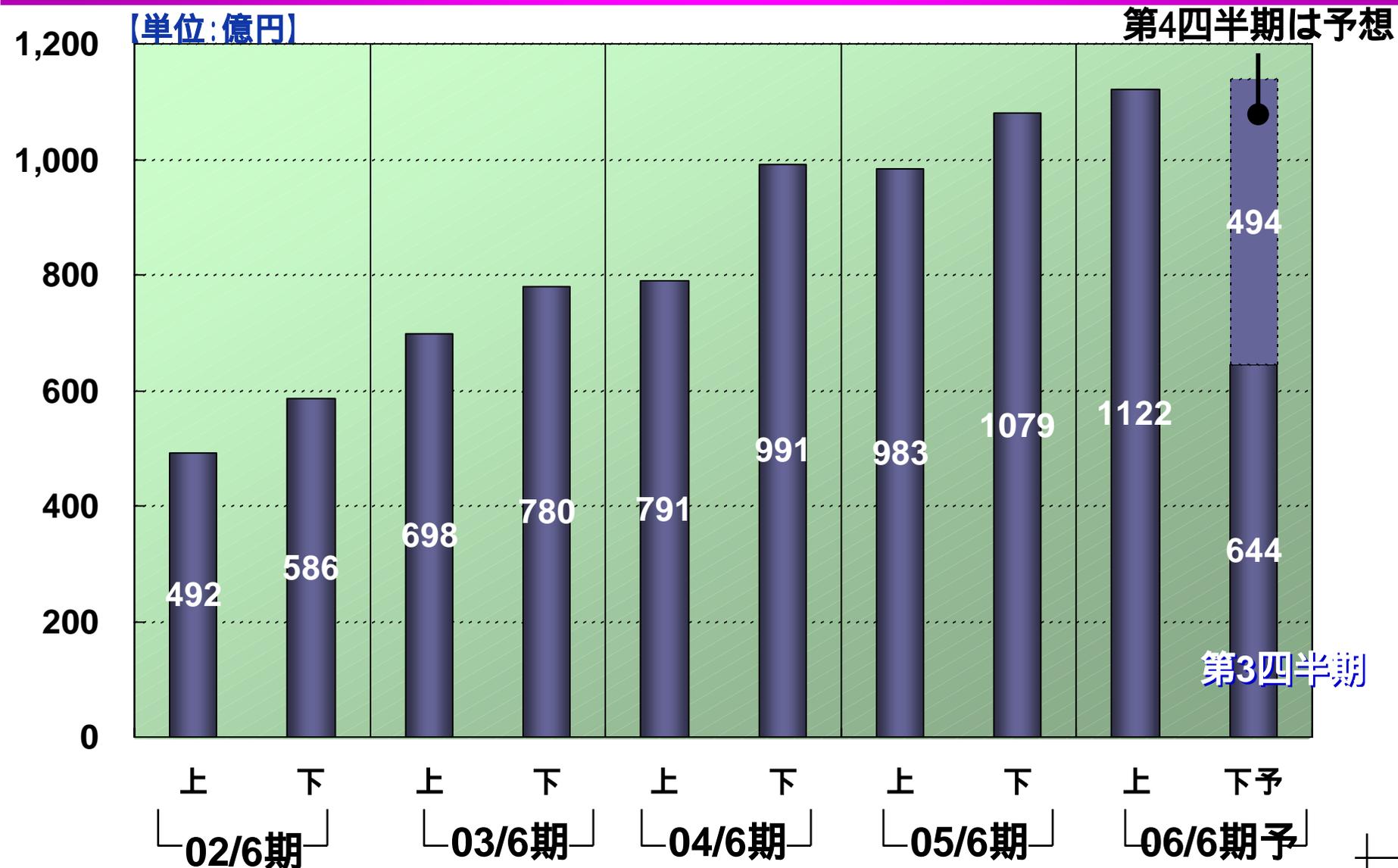
2006/6期 第3四半期業績

【単位:億円】

	1Q	2Q	中間期	3Q	累 計	前年同期	増減率
受 注 高	467	655	1,122	644	1,766	1,460	+21%
受 注 残 高	988	1,111	1,111	1,215	1,215	895	+36%
売 上 高	404	554	958	550	1,508	1,391	+8%
売上総利益	69	92	161	115	276	292	-5%
(率)	17.1%	16.6%	16.8%	20.9%	18.3%	21.0%	
営 業 利 益	7	25	32	49	81	106	-24%
(率)	1.7%	4.4%	3.3%	8.9%	5.4%	7.6%	
経 常 利 益	6	26	33	48	81	103	-22%
(率)	1.5%	4.8%	3.4%	8.7%	5.3%	7.4%	
当 期 純 利 益	1	14	15	23	38	62	-38%
(率)	0.2%	2.6%	1.6%	4.2%	2.5%	4.5%	

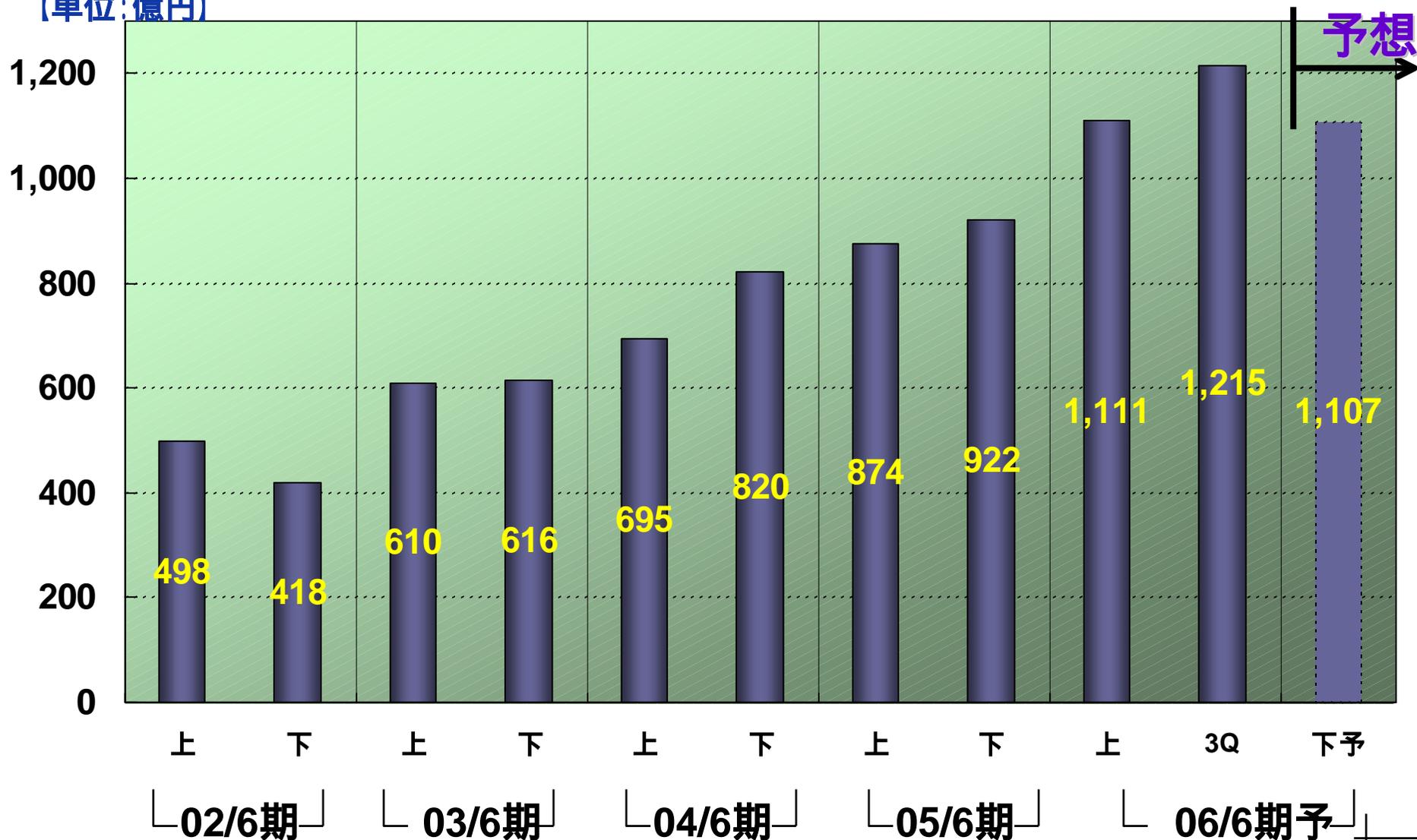
【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

受注高実績・予想



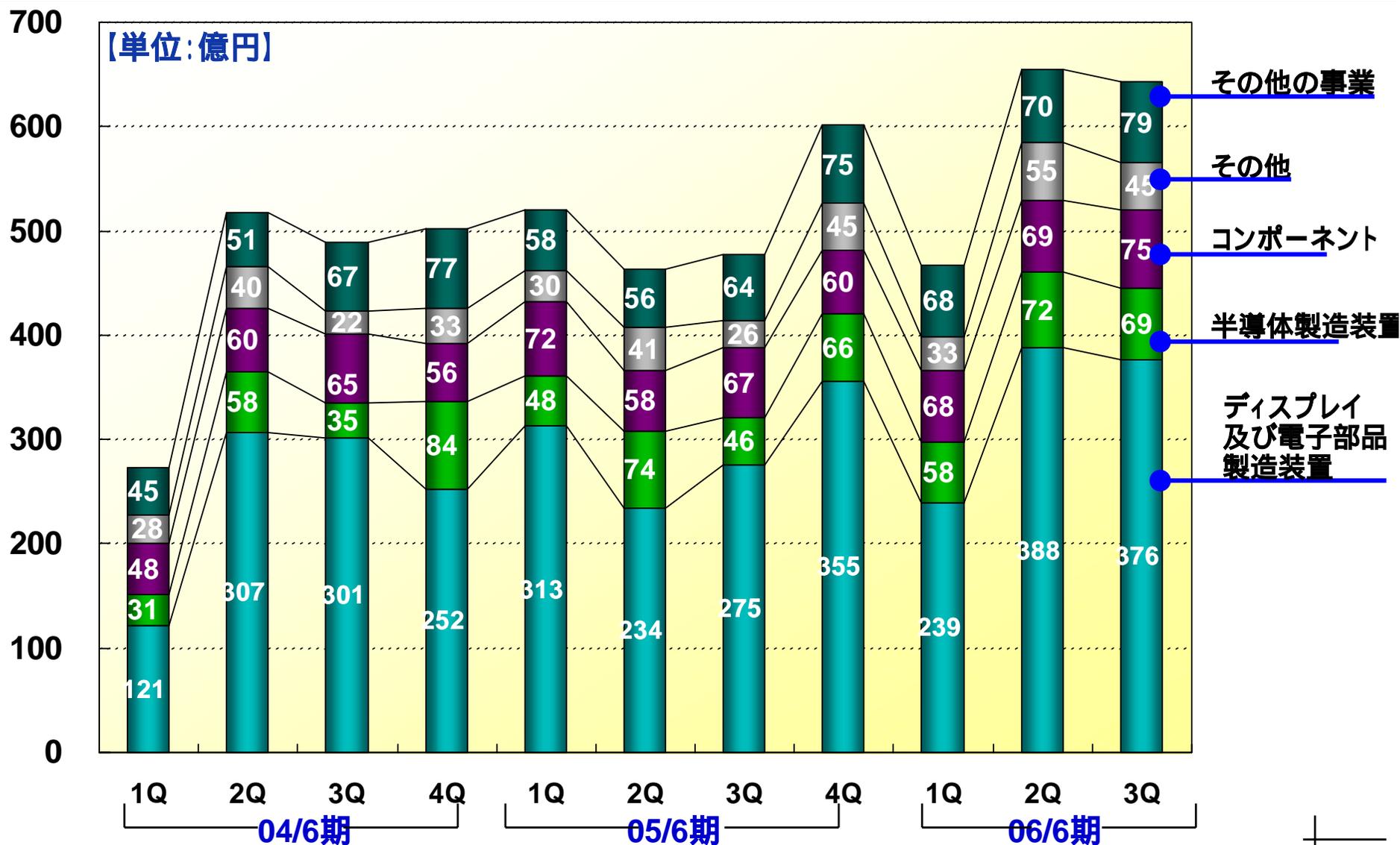
受注残高実績・予想

【単位：億円】



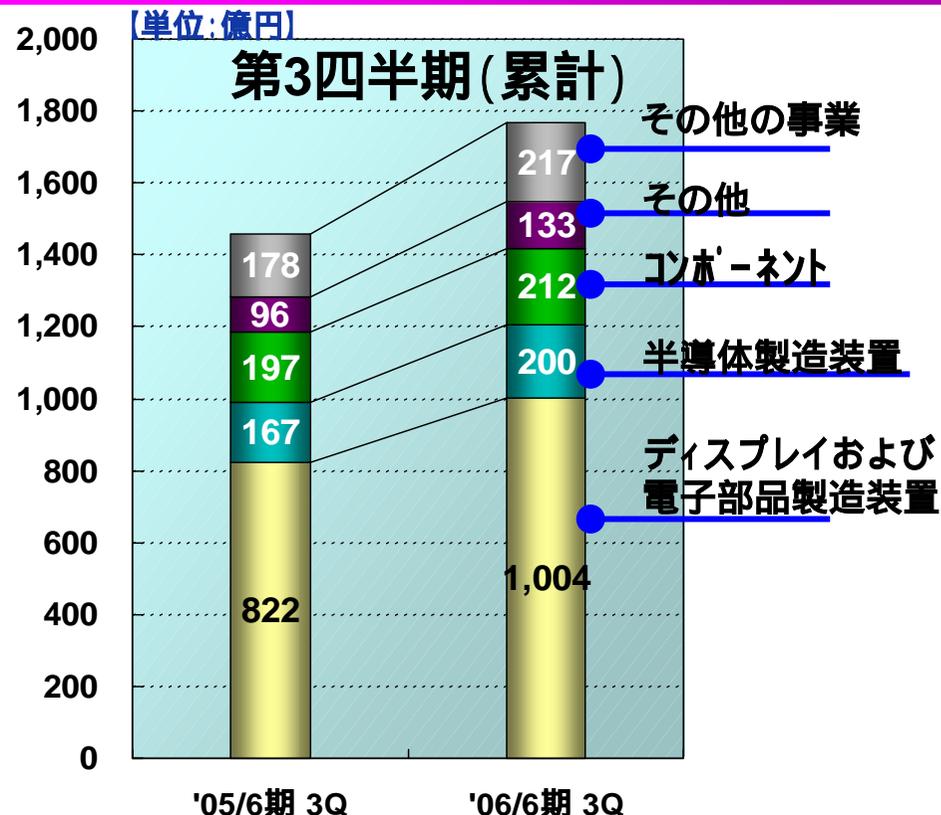
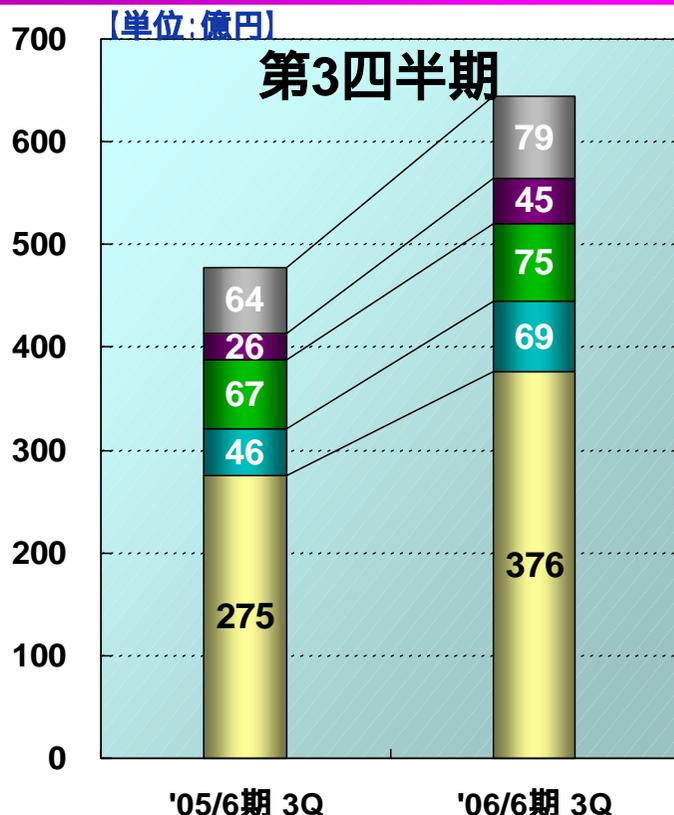
予想

品目別受注高(四半期ベース)



【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

第3四半期受注実績 (品目別、連結)



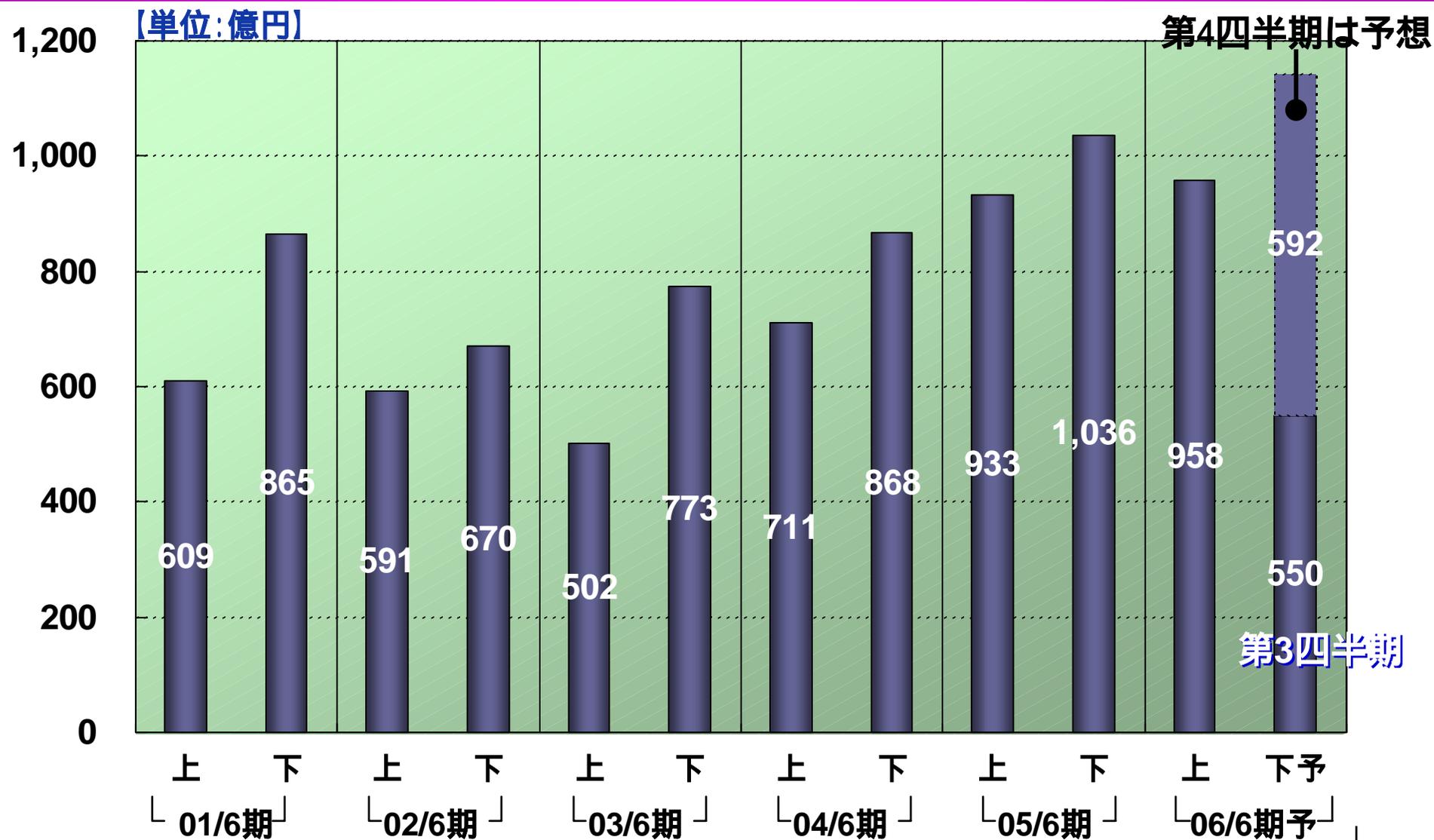
(単位: 億円)

	05/6期 Q3		06/6期 Q3		増減率
	受注高	構成比	受注高	構成比	
真空関連事業					
ディスプレイおよび電子部品製造装置	275	58%	376	58%	+37%
半導体製造装置	46	10%	69	11%	+50%
コンポーネント	67	14%	75	12%	+13%
その他	26	5%	45	7%	+73%
その他の事業	64	13%	79	12%	+24%
合計	477		644		+35%

(単位: 億円)

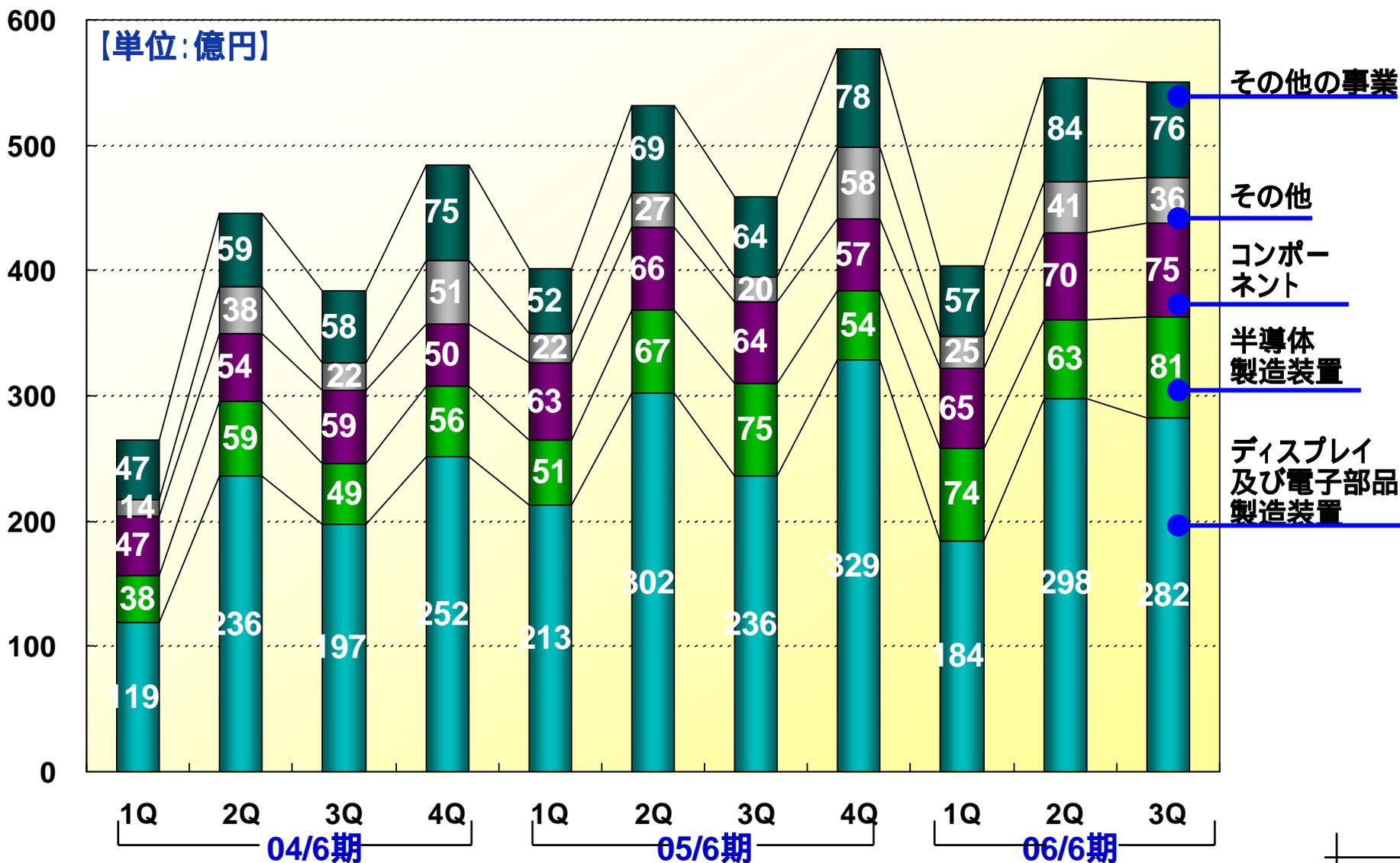
05/6期 Q3 累計		06/6期 Q3 累計		
受注高	構成比	受注高	構成比	増減率
822	56%	1,004	57%	+22%
167	11%	200	11%	+19%
197	13%	212	12%	+8%
96	7%	133	8%	+38%
178	12%	217	12%	+22%
1,460		1,766		+21%

売上高推移・予想



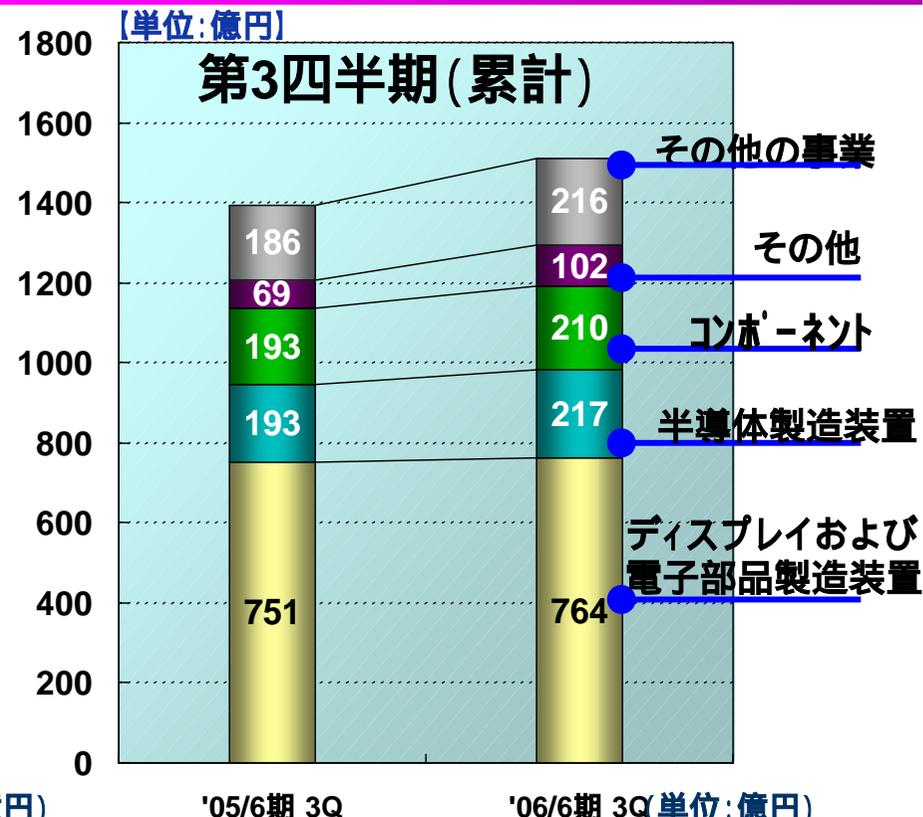
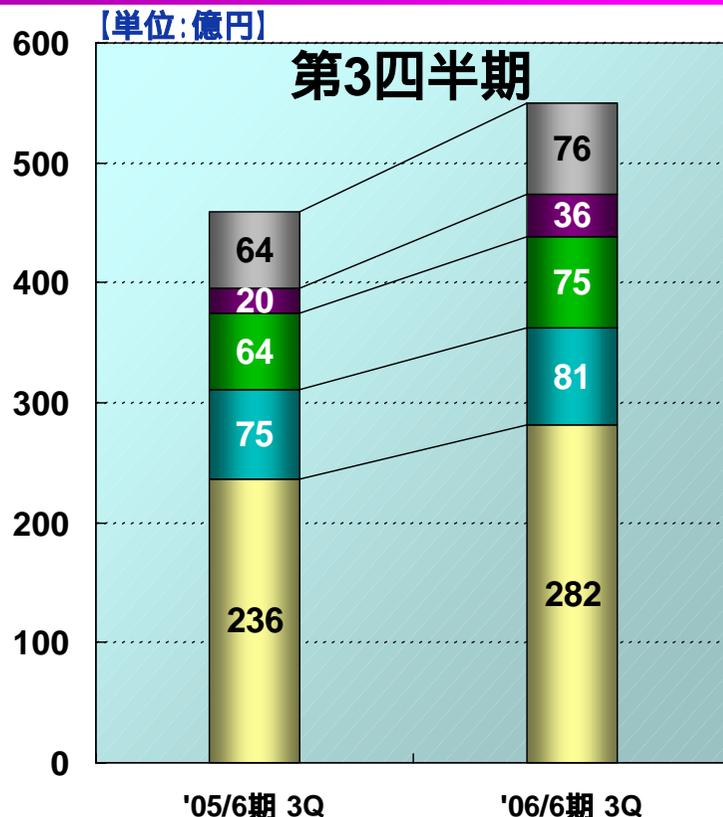
(小数点以下は四捨五入)

品目別売上高(四半期ベース)



【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

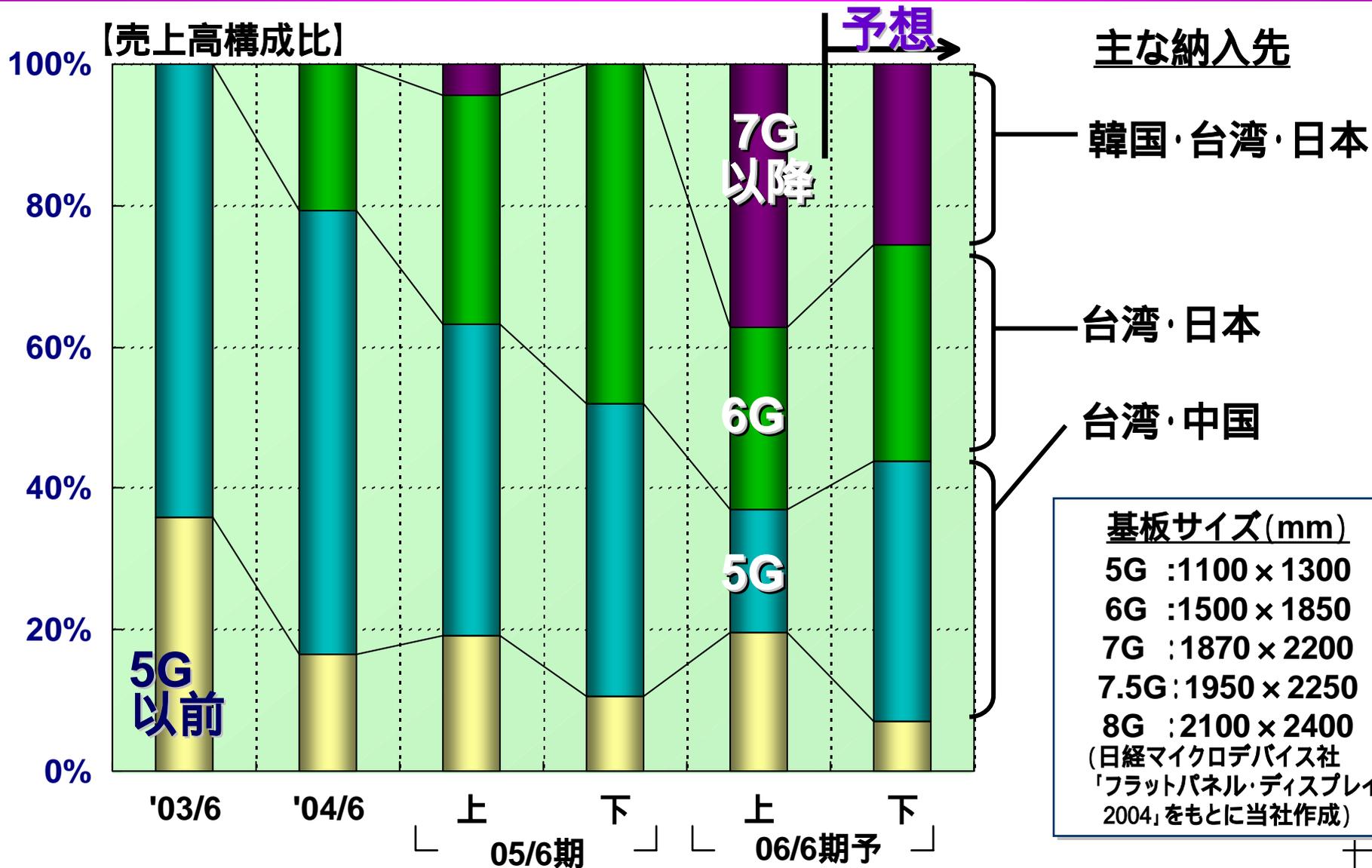
第3四半期売上実績(品目別、連結)



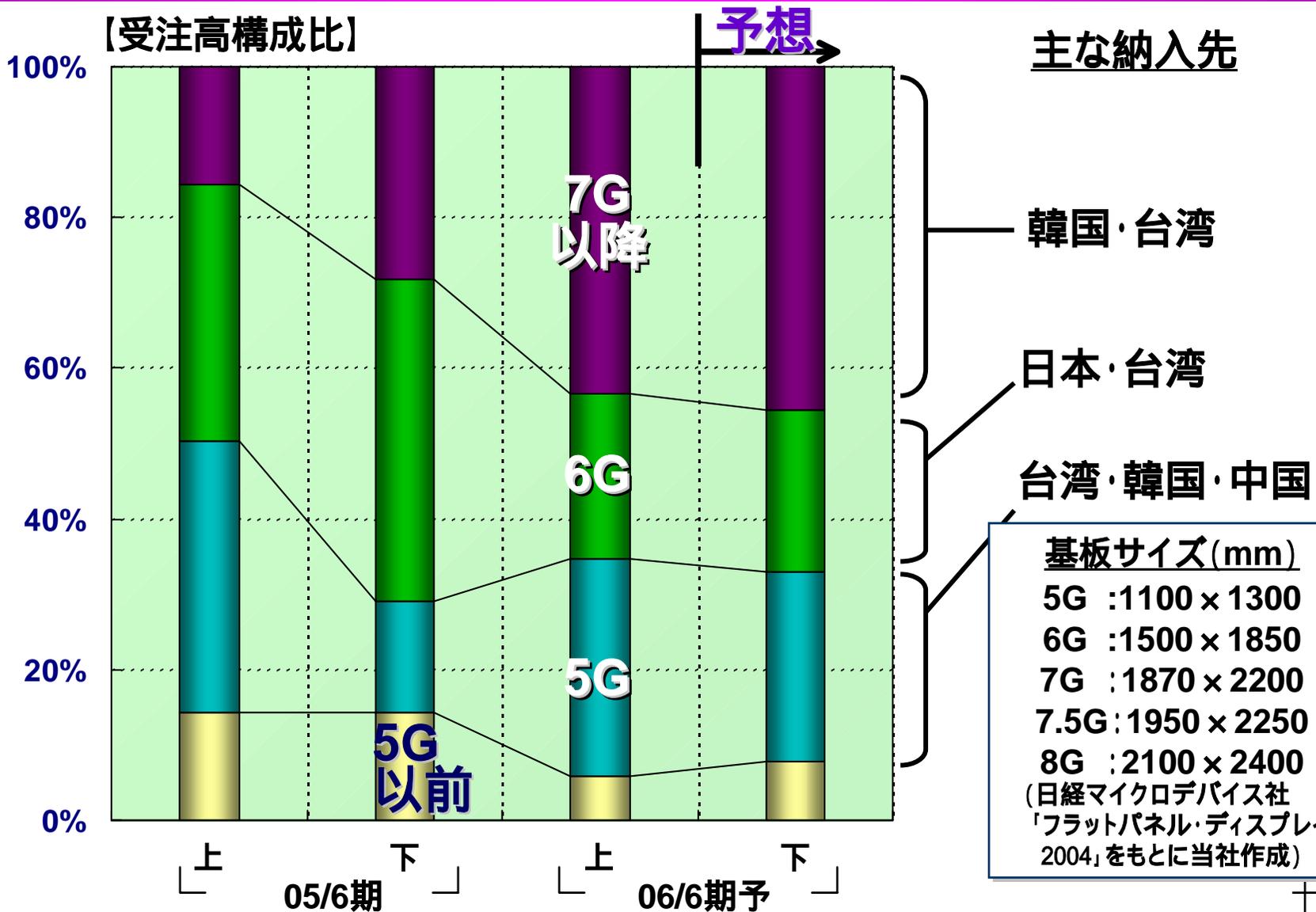
		05/6期 Q3		06/6期 Q3		
		売上高	構成比	売上高	構成比	増減率
真空関連事業	ディスプレイおよび電子部品製造装置	236	52%	282	51%	+20%
	半導体製造装置	75	16%	81	15%	+9%
	コンポーネント	64	14%	75	14%	+17%
	その他	20	4%	36	6%	+83%
	その他の事業	64	14%	76	14%	+17%
合計		459		550		+20%

		05/6期Q3(累計)		06/6期Q3(累計)		
		売上高	構成比	売上高	構成比	増減率
		751	54%	764	51%	+2%
		193	14%	217	14%	+13%
		193	14%	210	14%	+9%
		69	5%	102	7%	+47%
		186	13%	216	14%	+16%
合計		1,391		1,508		+8%

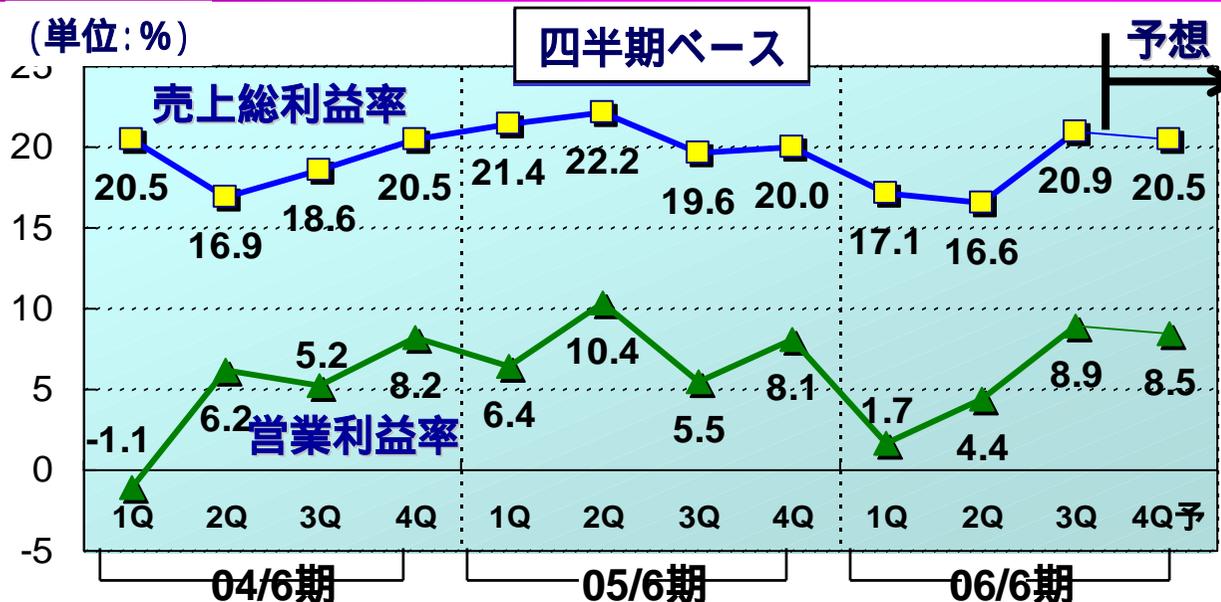
液晶ディスプレイ製造装置の世代の推移(売上)



液晶ディスプレイ製造装置の世代の推移(受注)



利益率の推移



06/6期利益率予想

第3四半期分析

・5G売上比率増加、6Gの採算性回復で利益率向上

・半導体製造装置、材料、サービスが利益率向上に寄与

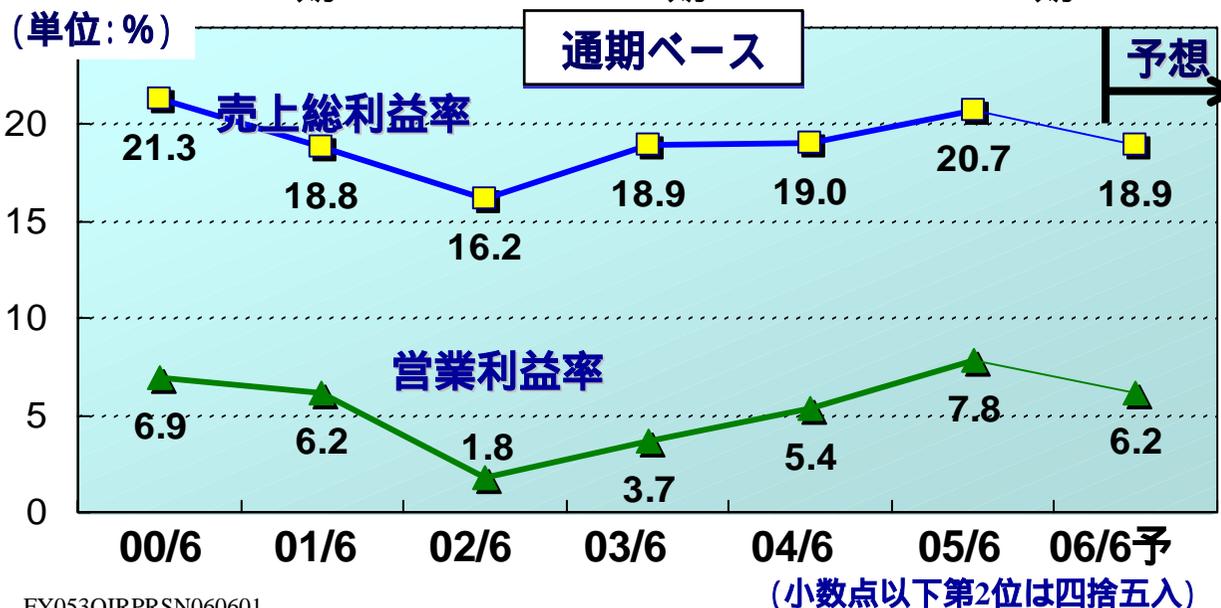
・固定費等予算管理の徹底

第4四半期予想

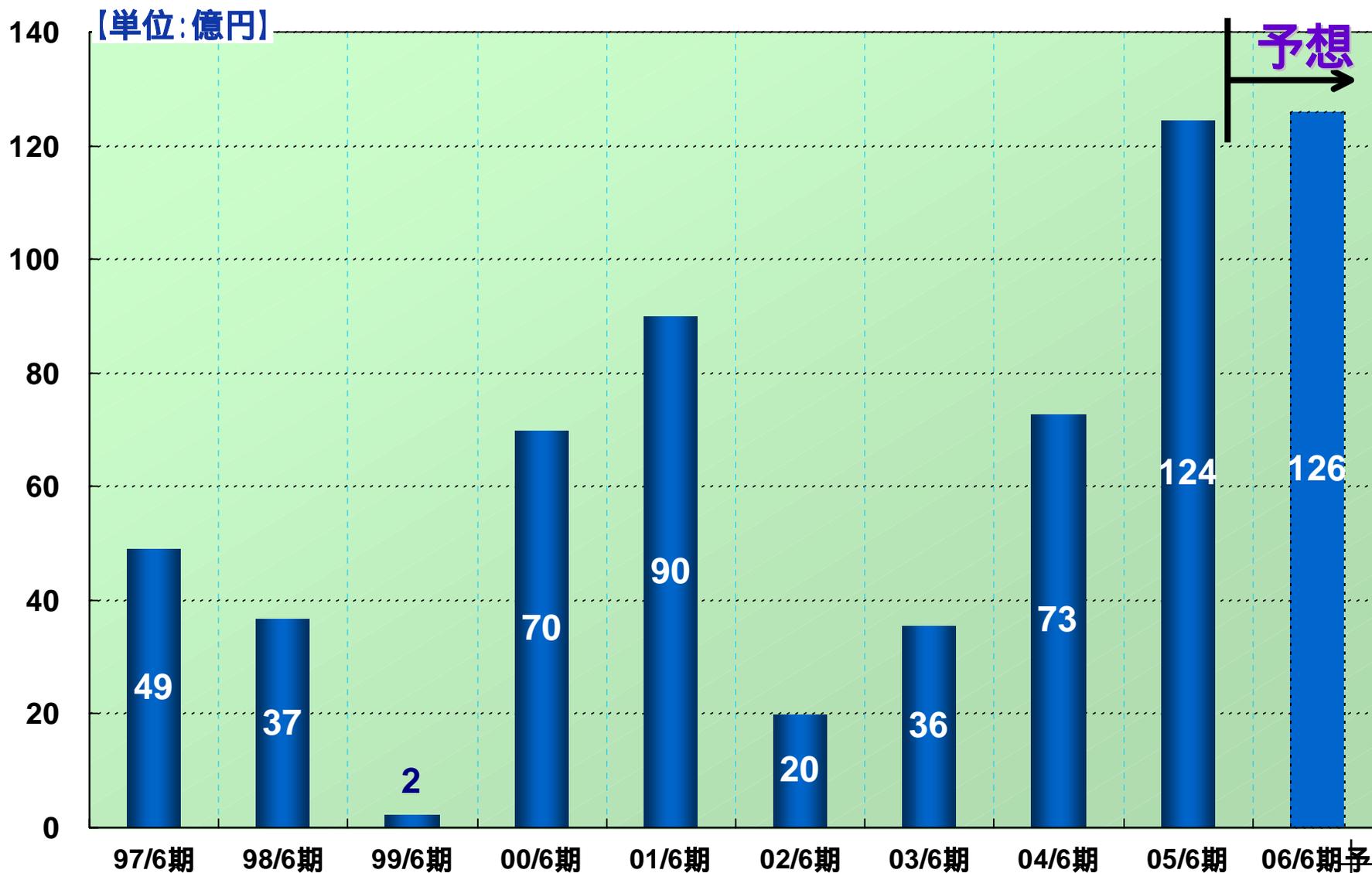
・5G、半導体製造装置、材料、コンポーネントで利益率向上

・7G以降で追加原価の発生を見込む

・固定費等予算管理の徹底

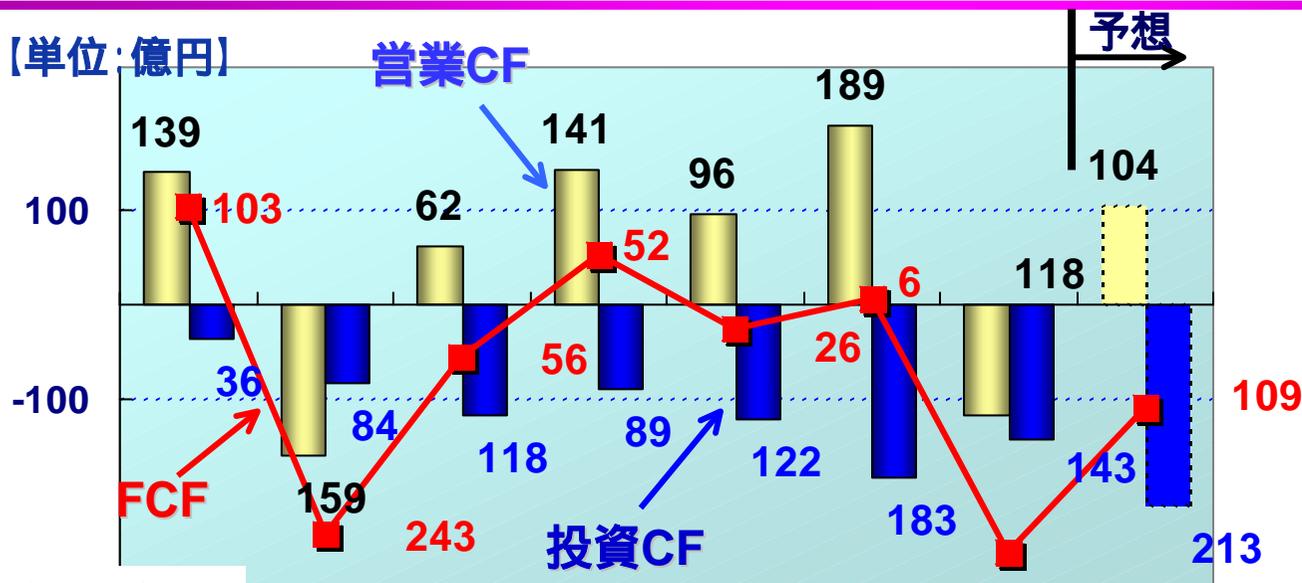


経常利益の推移



(小数点以下は四捨五入)

キャッシュ・フローと有利子負債の状況



主な要因

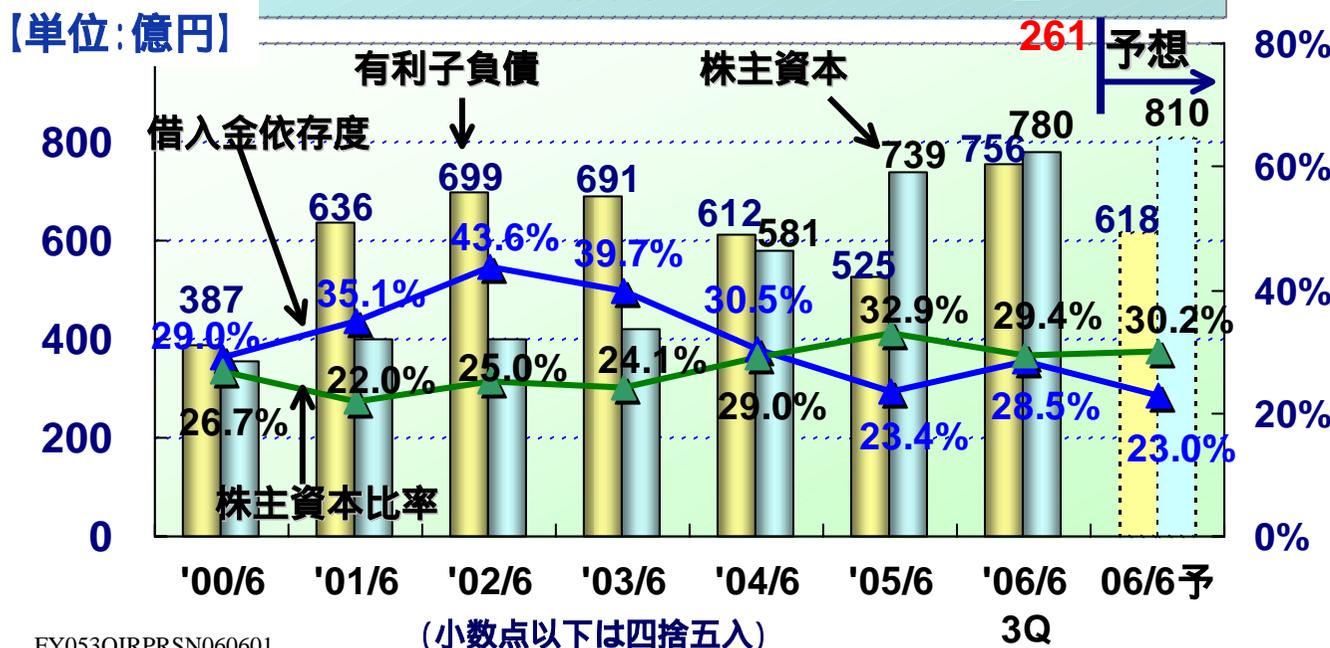
■ 営業CF: -118億円

<プラス要因>

- ・税引き前当期純利益 82億円
- ・減価償却費 57億円
- ・前受金増加 82億円

<マイナス要因>

- ・運転資金増加 283億円
- ・法人税等支払額 46億円



■ 投資CF: -143億円

<マイナス要因>

- ・台湾新会社投資 25億円
- ・工場及び設備の投資 106億円
(富里事業所、ULMAT、研究開発用設備等)

2006/6期 通期見通し

【単位：億円】

	05/6期	06/6期 (予)	前期比 (増減率)
受注高	2,062	2,260	+10%
受注残高	820	1,107	+35%
売上高	1,968	2,100	+7%
営業利益 (率)	153 7.8%	131 6.2%	-14%
経常利益 (率)	124 6.3%	126 6.0%	+1%
当期純利益 (率)	71 3.6%	71 3.4%	-1%

注) 百万円単位で計算後、単位未満四捨五入

今後の設備投資計画について

今後の設備投資計画について

■ 設備投資計画

FPD関連の受注増、製造装置の大型化
(クリーンルーム増設、マテリアルの増産)

研究開発環境の整備を実施

▶ 投資総額累計 約270億円(2年間)

■ 生産能力

一連の設備投資で、約3,500億円
(生産スペース換算)まで対応可能

茅ヶ崎本社・工場リニューアル



完成予想図

■リニューアルの概要

- ▶着工 : 2006年7月
- ▶竣工 : 2007年12月
- ▶建設面積 : 約10,000m²
- ▶延床面積 : 約38,300m²
- ▶用途 : FPD製造装置、
ポストFPD製造装置、
コンポーネントの試作開発
- ▶総投資額 : 約111億円
(建物建替、研究開発設備)
- ▶所在地 : 神奈川県茅ヶ崎市

愛知工場新設



完成予想図

■新工場の概要

- ▶着工 : 2006年4月
- ▶竣工 : 2006年10月
- ▶敷地面積 : 約11,000m²
- ▶延床面積 : 約7,200m²
- ▶用途 : FPD製造装置の製造
(ODFなど)
- ▶総投資額 : 約20億円
- ▶所在地 : 愛知県春日井市

千葉超材料研究所、アルバックマテリアル富里事業所



■新工場の概要

	千葉超材料研究所 (新設移転)	アルバックマテリアル (新設)
工期予定	2007年1月～8月	2006年6月～12月
敷地面積	約43,000㎡	
延床面積	約10,000㎡	約18,000㎡
用途	FPD関連技術や最先端の薄膜プロセス開発	FPD用スパッタリングターゲットの製造
総投資額	約37億円	約35億円
所在地	千葉県富里市(富里臨空工業団地)	

アルバック東北、アルバックマテリアル東北事業所(八戸)



2003年に稼動開始した加工センター

工場増設の概要

	アルバック東北 (組立工場、大型工作機械 増設)	アルバックマテリアル 東北事業所 (工場増設)
工期予定	2006年5月～11月	2006年5月～10月
延床面積	組立工場：1,463㎡ 大型工作機械は既設工場に設置	約3,200㎡
用途	FPD製造装置及び一般産業機器製造	FPD用スパッタリングターゲットの製造
総投資額	約7億円	約8億円
所在地	青森県 八戸市	

韓国 工場増設



2005年に稼動開始した
玄谷工場(上)と部品加工工場(下)

工場増設の概要

	韓国アルバック(株) 玄谷工場 2期 (クリーンルーム増設)	韓国アルバック精密(株) 2期 (部品加工工場増設)
工期予定	2006年4月～9月	2006年4月～9月
延床面積	約7,811㎡	約2,291㎡
用途	FPD製造装置(第7世代以降) (2期竣工後の生産能力 約48台/年)	大型真空装置用部品の製造
総投資額	約9.2億円	約4.8億円
所在地	大韓民国 京畿道平澤市	

中国 統括管理会社



■投資性会社の概要

- ▶商号 : 愛発科(中国)投資有限公司
(ULVAC(CHINA)HOLDING CO.,LTD.)
- ▶事業内容 : 中国国内における投資及び中国事業の管理統括業務
- ▶資本金 : 3,100万USドル
- ▶設立 : 2006年3月

台湾 工場新設

FPD製造装置などの生産工場



完成予想図

CSソリューション工場



完成予想図

	優貝克光電(股)有限公司 (アルバック光電)	超淨精密科技(股)有限公司
稼動開始	平成19年1月(工場建設中)	平成18年7月(工場建設中)
敷地面積	約6,700坪	約3,000坪
用途	大型基板液晶ディスプレイ 製造装置などの製造	真空装置ユニット及び部品の製造、 部品洗浄・表面処理、フィールドサービス
総投資額	約10億円(建屋約8億円)	約8億円(建屋約4億円)
所在地	台南科学工業園区内	

ULVAC